

データ利活用・業務改革支援事業委託の内容

企画経営部データ利活用・業務改革担当

データ利活用・業務改革支援事業委託料 22,856 千円

事業の目的および内容は次のとおりです。

1 目的

行財政経営方針に基づき、データを利活用して客観的な根拠に基づく政策立案や限られる経営資源の適正配分を行っていくこと、市民や職員といった「人」を中心とした視点で業務の目的や手法を見直し、目指す姿を描いて現状とのギャップを改善していくこと、組織横断的な BPR（業務改革）の取組を進めることなどにより、データ利活用と業務改革を両輪として、経営層によるマネジメントのもと DX の推進を図ります。

2 内容

(1) データ利活用支援業務

データ利活用の必要性を庁内に浸透させ、職員の意識を変えていくため、令和 4 年度に庁内公募によりデータ利活用推進担当（ADUPT）を立ち上げています。ADUPT の取組実績として、全庁から募集した業務課題の可視化や分析、まちづくり協議会ごとの地域の情報を可視化した地域カルテの更新などがあります。そのような分析課題に応じて、チーム活動を技術的にサポートするデータサイエンティストからの支援を継続的に受けられる体制を構築します。

- ・ 主な内容：ADUPT への伴走支援
- ・ 成果物：実施報告書

(2) 業務改革支援業務

個別業務の改善や組織横断的な内部事務の改善を行うため、令和 5 年度に庁内公募により業務改革ワーキンググループ（S.M.A.R.T 宝塚）を立ち上げています。S.M.A.R.T 宝塚の取組実績として、全庁から相談のあった個別業務の改善提案およびツール作成支援や、照会業務等の組織横断的な内部事務の改善提案などがあり、その一部について改善が図られています。専門的な知見からの助言によりその活動を支援するほか、業務相談会等でこれまで進めてきた BPR の取組を継続的に推進していくための体制を構築します。

- ・ 主な内容：S.M.A.R.T 宝塚への伴走支援、業務相談会への伴走支援、個別業務の BPR 支援ほか
- ・ 成果物：実施報告書

(3) ローコードツール・ノーコードツール開発支援業務

ローコードツール（RPA）、ノーコードツール（kintone）について、既存のツールによる業務処理を継続して行うとともに、担当課が事業者による支援を受けながら新たなロボやアプリを開発・実装できる体制を構築します。

- ・ 主な内容：RPA ロボ開発支援・開発代行、RPA スキルトレーニング、ノーコードツール開発支援
- ・ 成果物：各月作業報告書、ロボ設計書、研修実施報告書等